

小学六年
適性検査A
 解答と解説

【例】							
	ま	を	て	を	う	い	
私	く	か	い	高	、	て	「
は	進	け	る	め	メ	、	他
、	め	す	。	に	ツ	文	者
メ	る	ぎ	文	見	セ	章	へ
ツ	う	な	章	積	ー	A	の
セ	え	い	B	も	ジ	で	期
ー	で	よ	で	っ	を	は	待
ジ	大	う	は	て	受	、	「
を	切	に	、	お	け	相	に
発	だ	す	必	く	取	手	よ
信	と	る	要	の	る	の	っ
す	述	こ	以	が	側	気	て
る	べ	と	上	よ	が	分	起
側	ら	が	に	い	最	を	こ
の	れ	、	他	と	初	害	る
と	て	物	者	述	か	さ	こ
き	い	事	に	べ	ら	な	と
は	る	を	期	ら	期	い	に
文	。	う	待	れ	待	よ	っ

100

20

問二 【例】			
が	ー	く	「
、	ス	寄	お
か	を	り	も
え	く	添	し
っ	ず	わ	ろ
て	す	ず	さ
爽	こ	に	「
快	と	自	を
に	な	分	求
感	く	の	め
じ	生	世	る
ら	き	界	人
れ	て	を	間
る	い	持	の
こ	る	ち	期
と	カ	、	待
。	メ	自	に
	の	分	ま
	様	の	っ
	子	べ	た

80

60

40

20

問一
期
待
が
外
れ
た
こ
と
に
対
す
る
怒
り

14

問三													
が	な	と	度	る	は	を		て	思	章	言	き	章
よ	が	も	で	の	起	受	確	バ	い	A	い	ち	B
い	ら	あ	あ	は	こ	け	か	ラ	を	の	方	ん	の
と	そ	る	れ	公	り	取	に	ン	さ	筆	を	と	筆
思	れ	の	ば	平	に	る	、	ス	せ	者	心	自	者
う	ぞ	で	か	で	く	人	文	を	な	の	が	分	の
。	れ	、	け	は	い	が	章	取	い	よ	け	の	よ
	の	過	ら	な	が	先	A	れ	よ	う	た	言	う
	立	度	れ	い	、	回	の	る	う	に	い	い	に
	場	に	た	。	片	り	筆	よ	な	で	。	た	相
	で	な	側	「	方	し	者	う	期	き	受	い	手
	上	ら	の	他	だ	て	の	に	待	る	け	こ	に
	手	な	や	者	け	気	よ	し	の	だ	取	と	過
	に	い	る	へ	に	を	う	た	見	け	る	が	度
	使	よ	気	の	負	つ	に	い	積	相	側	伝	の
	い	う	を	期	担	か	メ	と	も	手	の	わ	期
	分	気	高	待	が	え	ツ	思	り	に	と	る	待
	け	を	め	「	集	ば	セ	う	方	い	き	よ	を
	る	つ	る	は	中	問	丨	。	を	や	は	う	せ
	の	け	こ	適	す	題	ジ		し	な	文	な	ず、

440

400

300

200

(配点)
 { 問一 15点
 問二 35点 } 計100点
 問三 50点

【解説】

自分の意見を記述する問題

問一 B1 情報を獲得する 具体化 関係づけ

文章Aの「お客さんがムツとした」のは、ウェイターの対応から「この人はオードブルの定義を知らないんだな」という気持ちを読み取ったことが直接の原因です。自分はそれなりにフランス料理の知識を持っているので、当然その部分は理解しているものとしてあつかってくれることを期待していたのに、ウェイターがオードブルの定義を説明し始めたことで「そんなことくらい分かっている！」と気分を害したのです。これと同じように、相手に対して何らかの期待をいだき、それが外れたことで気分を害している状況を文章Bからさがすと、親が子どもに過剰な期待をかけ、望んだ結果が出なかつた時に不満をもちます例が見つかります。したがって、3ページ上段の「期待が外れたことに対する怒り」が正解となります。この件では「悲しみ」は生まれていないので、その部分は省いてよいでしょう。

問二 B2 具体化 関係づけ 置き換え

筆者がカメを飼うことについてプラスにとらえたり、良い印象をいだいたりしている部分をいねいに探しましょう。直接的には4ページ上段の「カメを飼うおもしろさがあるとしたら、そこなのではないか」の直前にまともまっています。また、3ページ下段の「こちらの期待にちつとも寄り添わないカメのあり方が、だんだん爽快に思えてきた」もカメを飼う楽しみであると言えるでしょう。「期待の枠を飄々と越えていく」は少しわかりにくい表現なので、人間の期待にまったく寄り添わず自分のペースで過ごすということが説明されているあたりに注目しま

す。

「カメが自分の世界を持ち、自分のペースで過ごすこと」「おもしろさ」を期待する人間に寄り添わないこと」「それらのカメの様子」が「爽快だと感じられること」を盛りこんでまとめよう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について（18点）

七十字以上書かれている場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、6点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

- ・筆者の考えるカメを飼う楽しみについて説明されているか
- ・内容に過不足がないか
- ・文や文章の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか

形式等について（12点）

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか
- ・不適切な話し言葉の使用がないか
- ・消し残りなどで字が見づらくないか

マス目の使い方・構成について(5点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは3点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・指定されたマス目の使い方方で書かれているか
- ・一マスに一文字が書かれているか
- ・七十文字未満の場合、採点対象としません。

問三 C2 理由 置き換え 推論

「文章A」と「文章B」に書かれたことをふまえながら、自分が「他者への期待」をあつかううえで必要なこと、という課題についてあなたの考えを述べる問題です。

第一段落では、「文章A」と「文章B」それぞれに書かれた、「他者への期待」によって起こることについて気を付けるべき内容をまとめます。

「文章A」の最終段落には失敗の経験から筆者が採用するようになった戦略がまとめられています。この戦略は、メッセージを受け取る側が相手に対する期待を高めに見積もっておけば問題が起こりにくいということを前提にしています。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

また、「文章B」の最終段落には「人と人のかかわりも、期待を外してみると、ちがったものになるのではないか。」という内容があります。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

第二段落では、「文章A」と「文章B」で説明された「他者への期待」のあつかい方をふまえて、あなたの意見を書きます。たとえば、メッセージを受け取る側が相手の期待を高めに見積もっておく

と無難である、という「文章A」の筆者の意見に同意できる場所があれば、自分がメッセージを受け取る際にメッセージを発信している人の期待について考え、適切な対応を取る、という方向で自分の意見をまとめることができます。また、「他者への期待」を過剰にしないことが大切だ、という「文章B」の筆者の意見に同意できる場所があれば、他者に期待をするにあたってどのようにバランスをとるか、という方向で自分の意見をまとめることができます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。基本的に、どちらの文章を選ぶか、また、どのような意見を主張するかというところで優劣はつきません。あなたの考え方を讀んだ人が納得できるように意識して意見を書きましよう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について(30点)

四千字以上書かれている場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、6点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・第一段落

「文章A」と「文章B」それぞれに書かれた「他者への期待」によって起こることについて気を付けるべき内容が書かれているか

・第二段落

「文章A」と「文章B」のいずれかまたは両方の筆者の「他者への期待」に関する指摘をふまえて、自分の意見が書かれているか

・第三段落

第二段落に書いたことについての理由が書かれているか

- ・それぞれの段落に書かれた内容に過不足がないか
- ・文や文章の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか

- ・同内容の不必要な反復がないか

形式等について(10点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか
- ・不適切な話し言葉の使用がないか
- ・消し残りなどで字が見づらくないか

原稿用紙の使い方・構成について(10点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・原稿用紙の使い方に誤りがないか
- ・指定された段落数で書かれているか

* 四千字未満の場合、採点対象としません。